

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成28年3月24日 (2016.3.24)

【公開番号】特開2013-172711(P2013-172711A)

【公開日】平成25年9月5日 (2013.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-048

【出願番号】特願2013-11960(P2013-11960)

【国際特許分類】

A 2 3 L 11/00 (2016.01)

A 2 3 L 33/10 (2016.01)

A 2 3 L 5/00 (2016.01)

A 6 1 K 36/48 (2006.01)

A 6 1 K 36/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

【F I】

A 2 3 L 1/20 Z

A 2 3 L 1/30 B

A 2 3 L 1/00 J

A 6 1 K 35/78 J

A 6 1 K 35/78 Y

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 1/12

A 6 1 P 3/04

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月18日 (2016.1.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

オカラ酵素処理物を酵母菌で発酵させてなるオカラ酵素処理発酵物を含有し、前記オカラ酵素処理物がオカラを細胞壁分解酵素で処理してなることを特徴とするダイエツ組成物。

【請求項 2】

オカラ酵素処理物を酵母菌で発酵させてなるオカラ酵素処理発酵物を含有し、前記オカラ酵素処理物がオカラを細胞壁分解酵素で処理してなることを特徴とする整腸組成物。

【請求項 3】

オカラ酵素処理物を酵母菌で発酵させてなるオカラ酵素処理発酵物を含有し、前記オカラ酵素処理物がオカラを細胞壁分解酵素で処理してなることを特徴とする二糖類水解酵素活性阻害組成物。

【請求項 4】

オカラを細胞壁分解酵素で処理してオカラ酵素処理物を調製し、前記オカラ酵素処理物

における液体中に可溶化したアラビノースを選択的に得ることを特徴とするアラビノースの選択的製造方法。

【請求項 5】

オカラ酵素処理物を酵母菌で発酵させる発酵工程を更に含む請求項 4 に記載のアラビノースの選択的製造方法。

【請求項 6】

オカラ酵素処理物を酵母菌で発酵させてなるオカラ酵素処理発酵物を含有し、前記オカラ酵素処理物がオカラを細胞壁分解酵素で処理してなることを特徴とする抗酸化組成物。

【請求項 7】

オカラを細胞壁分解酵素で処理してなるオカラ酵素処理物を含有することを特徴とする抗酸化組成物。